

学校伝染病一覧

第一種の感染症

治癒するまで出席停止とする。

エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 南米出血熱 ペスト マールブルグ病 ラッサ熱 急性灰白髄炎 ジフテリア 重傷急性呼吸器症候群 鳥インフルエンザの10種については、治癒するまで出席停止とする。

第二種の感染症

学童によく起こる伝染病。出席停止期間、患者の隔離について守る。診断がついたら学校へ速やかに連絡する。

病名	出席停止期間	おもな症状	進入経路	潜伏期間	伝染可能期間	予防方法	好発時期
インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで	発熱 頭痛 腰痛 全身倦怠感 鼻づまり くしゃみ たん	飛沫感染 接触感染	平均2日 (1~4日)	発熱1日前から3日目をピークに7日目頃まで	うがい、手洗い 予防接種 流行時の人混みの中ではマスク	冬
百日咳	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで	はじめは軽い咳、喉の発赤がみられる。発病後1週間くらいからコンコンという咳が出る。	飛沫感染 接触感染	7~10日 (5~21日)	発病後28日 (適切な治療後5日程度)	患者に近づかない 乳幼児期の定期予防接種	春~夏
麻疹 (はしか)	解熱した後3日を経過するまで	発熱 咳 鼻水 眼脂。頬粘膜にコプリック斑。一旦下がりがけた熱が再度上がる時に皮膚に発疹。	空気感染 飛沫感染	9~12日 (7~18日)	発熱1~2日前から発疹の出た後4日目頃	患者の隔離 定期予防接種	春~夏 最近は 通年
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺などの腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで	37~38℃の発熱。まず片側、ついで両側のおごの後ろが大きく腫れて痛む。食欲不振 嚥下困難。	飛沫感染 接触感染	16~18日 (12~25日)	発病前7日から発病後9日	患者の隔離 予防接種	春~夏
風疹 (三日はしか)	発疹が消失するまで	発熱(軽いことが多い) 発疹 耳の後ろ、首が腫れ、押すと痛い。	飛沫感染 接触感染	16~18日 (14~23日)	発疹の出る7日前から、出た後7日間	患者の隔離 定期予防接種	春 秋~冬
水痘 (水ぼうそう)	すべての発疹が痂皮化するまで	水疱のある発疹が身体中に次々と出る。かさぶたとなり、先に出たものから治っていく。	空気感染 飛沫感染 接触感染	14~16日 (10日未満又は21日のことも)	発疹の出る1~2日前から、全ての発疹がかさぶたになるまで	患者の隔離 予防接種	冬~春
咽頭結膜熱 (プール熱)	主要症状が消退した後2日を経過するまで	発熱 喉の痛み 結膜炎 首のリンパ節の腫れ。	飛沫感染 接触感染	2~14日	発病後2~3週	手洗い、うがい プール前後のシャワーの励行 *プール以外でも感染	夏~秋
結核	医師において伝染のおそれがないと認めるまで	初期は自覚症状なし。X線で発見されることが多い。疲労感 寝汗 微熱 体重減少 肩こり 咳 たん	空気感染 飛沫感染 接触感染	2年以内 6月以内が多い	喀痰塗抹検査陽性期間	BCG接種 X線による早期発見 栄養と休養に注意	
髄膜炎菌性髄膜炎	医師において伝染のおそれがないと認めるまで	発熱、頭痛、意識障害、嘔吐。時に劇症型感染症があり、急速に進行する。	飛沫感染 接触感染	4日以内 (1~10日)	有効な治療開始後24時間を過ぎるまで	日本には承認されたワクチンなし 患者との接触、歯ブラシや食器の共有をしない	

第三種の感染症

症状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるまで。

病名	出席停止期間	おもな症状	進入経路	潜伏期間	伝染可能期間	予防方法	好発時期	
コレラ	治癒するまでが望ましい	突然の激しい水溶性下痢、嘔吐	経口(糞口)感染	数時間~5日		手洗い 渡航の際は生鮮食品に注意		
細菌性赤痢	治癒するまでが望ましい	発熱、下痢、腹痛、嘔吐	経口(糞口)感染	1~7日		感染者の便の的確な処理		
腸管出血性大腸菌感染症	医師において伝染のおそれがないと認めるまで	水様下痢便、腹痛、血便 乏尿や出血、意識障害	接触感染 経口(糞口)感染	10時間~6日	便中に排菌期間	手洗いの励行 食品の加熱 調理器具やトイレの消毒	夏に多い	
腸チフス パラチフス	治癒するまでが望ましい 排泄自立なら不要	持続する発熱、発疹 重傷では腸出血、腸穿孔	経口(糞口)感染	7~10日 (3~10日)		手洗いの励行 食品の加熱 調理器具やトイレの消毒		
流行性角結膜炎	医師において伝染のおそれがないと認めるまで	涙がよく出る。目やに、異物感。結膜が充血する。	飛沫感染 接触感染 プール水、タオルなど	2~14日	発病後数日強い 数ヶ月続くこともある	伝染力が非常に強いので、患者のさわった物をよく消毒する 手洗いの励行	春~夏	
急性出血性結膜炎	医師において伝染のおそれがないと認めるまで	きつい充血 出血してくる。	飛沫感染 接触感染 経口(糞口)感染	1~3日	呼吸器から1~2週間 便から数周~数ヶ月	患者のさわった物をよく消毒する 手洗いの励行	春~夏	
その他の伝染病	感染性胃腸炎	下痢、嘔吐軽減後、全身状態改善まで	嘔吐 下痢	飛沫感染 接触感染 経口(糞口)感染	ノロ12~48時間 ロタ1~2日	急性期が強い 便から3週間	手洗いの励行 食品の加熱 次亜塩素酸Naでの消毒	冬季に多い
	マイコプラズマ感染症	症状が改善し、全身状態がよくなるまで	咳 発熱 頭痛	飛沫感染	2~3週間	症状のある間	手洗い うがい	夏~秋
	溶連菌感染症	適切な抗菌薬療法開始後24時間	発熱 咽頭痛 咽頭扁桃の腫れ	飛沫感染 接触感染 経口(糞口)感染	2~5日	適切な抗菌薬療法で24時間以内	手洗い うがい	
その他の伝染病は、流行の状況により必要時に第三の感染症としてあつかうことがある。 上記3つの他、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、帯状疱疹、伝染性膿痂疹(とびひ)、伝染性軟属腫(水いぼ)、アタマジラミなどは、特に出席停止の必要はないが、適切な治療を行い、診察を受けた際は医師の指示に従う。								